

会報

国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

70号

2016年3月15日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局

千葉市中央区要町2-8 DCC会館内

TEL 043-222-7207

nationwidemovement@yahoo.co.jp

安倍の労働法改悪にストライキで反撃を！

新署名を闘いの推進力に



3・11春闘第一波ストライキ (京葉車両センター)

動労千葉が3月11日、春闘第一波ストライキを闘いました。CTSの就業規則改定、組合員の業務外し・不当配転、定年組合員の再雇用問題での組織破壊攻撃に対する反撃の闘いです。

4・1改定の実施を阻止した！

駅や車両の清掃を行うJR千葉鉄道サービス(CTS)が、契約社員の5年雇止め制度を柱とする雇用形態の抜本的改悪を強行しようとしています。事実を知った現場から大きな怒りの声があがり、会社は説明会を5年に制限(1年契約で更新は

実施できず、ついに4月1日実施を断念しました。

CTSは、契約社員・パート社員を「スタッフ社員」に変更し、月給制から時給制に変えた上でスタッフ社員の雇用上限を5年に制限(1年契約で更新は

4回まで)しようとしているのです。重大なことは、5年を超える雇用を希望する者には試験を課し、不合格なら雇止めにするということです。

これまでCTSの契約社員・パート社員は1年ごとに契約を更新して65歳まで働くことができたのです。

非正規全体への雇止め攻撃だ

昨年9月の労働者派遣法の大改悪によって、企業は3年ごとに派遣労働者を交替させれば、3年を超えて無期限に派遣労働者を使用できることになった。正社員を派遣労働者に置き換えることが事実上、合法化されたのです。他方で、派遣労働者は3年ごとの雇止めが強制されます。

2018年を前後して非正規労働者の(3年・5年)の雇止めが一挙に爆発しかねない情勢が迫っています。JRでは、労働契約法の改定に先立ち、駅の外注化施策の柱にグリーンスタッフ(契約社員制度)を据えてきました。さらにはグループ企業の大再編で大半の労働者を5年で使い捨てる雇用体制をつくらうとしているのです。

きた動労千葉と動労総連合がこれからの新自由主義的なJR資本との攻撃と闘い抜き、資本の矛盾を突き、現場の怒りと結合して、団結(労働組合)を生み出すことができれば、階級的労働運動の再生の大きな展望が開かれます。

2012年の労働契約法改定無期転換ルールが有効となる

では、5年無期転換ルールが制定されましたが、カフェ・ベーローチェの4年雇止め裁判や早稲田大学の非常勤講師上限5年(組合との和解で撤回された)など、あらゆる企業でこれを回避するための雇止めが激増し、あるいは、雇止めの制

安倍政権が進める総非正規労働者(労働移動の促進)化のモデルケースをJR資本が先頭に立ってつくり出し、その全社会的な拡大を狙っているのです。

「JRに法的責任あり」を闘い取った国鉄闘争には大きな歴史的地平と底力があります。新たな署名運動は労働運動再生の推進エンジンです。

2・14国鉄集会の組織化の過程で新署名を取り組みました。

1時間もあれば「中曽根も悪かったけど安倍はひどいね」まで頭張っているんだ」という反

顔での高等オルク」ですが結構署名してくれるんです。

再生させ、16春闘を闘おう。

署名板につける前垂れもなく、「安倍を倒せ」ゼッケンだけののわが仕立ての街宣を集めました。しかし百筆以上が集まり、最高裁署名以上の手ごたえを感じました。

1時間あれば「中曽根も悪かったけど安倍はひどいね」まで頭張っているんだ」という反

署名運動は労働運動再生の推進エンジンです。

小田原で2月21日、動労神奈川が青年労働者の解雇撤回を闘った時も街宣で署名を集め、「こんな集まったのは初めてすこい反応」となりました。

ビラを受け取り、足を止める人に「解雇撤回の新署名です」と切り出し、「国鉄分割・民営化で首を切られた国鉄1047名の闘いが29年になります。実は昨年6月に最高裁が『首を切ったことは違法。労働組合法違反の不当労働行為があった』と初めて確定しました。これでJRに雇用責任が生まれたんです。署名はJRに雇えと直接に要求するものです」とギリギリ

私だけの話ではなく、やる気さえあれば誰でもできます。例えば、こんなことも試してみたい。口下手を自認する人と一緒に署名した際は、私の後ろに立ってもらい、ビラを受け取った人に笑いかけてもらうことにしました。悪く言えば「立っただけ」、良く言えば「目と

新署名は、何より自分の職場を組織する最高の武器になるでしょう。党派闘争に勝利し、組織化の最強の武器です。戦後最大・最長で、国際的にも通用する「国鉄1047名解雇撤回闘争」の決着＝JR採用へ全力で取り組みを開始しましょう。

今後の春闘、反原発、戦争法反対闘争などにもどんどん出かけよう。(T)

職場、街頭で取り組もう

最後に「1047名ものクビを切ったJRは、乗客の命も守らない元祖ブラック企業です」と締めくくります。

「JRに法的責任あり」を闘い取った国鉄闘争には大きな歴史的地平と底力があります。新たな署名運動は労働運動再生の推進エンジンです。

今後の春闘、反原発、戦争法反対闘争などにもどんどん出かけよう。(T)

署名武器に労働運動再生へ 各地で 国鉄集会

7628人の国鉄労働者に不採用が通告された1987年2月16日から29年、全国9カ所で国鉄集会在開催され、JRに対して「解雇撤回・原職復帰」を要求する新たな署名運動が始まった。

国鉄闘争全国運動の呼びかけで「国鉄分割・民営化で不当解雇から29年」2・14国鉄集会。200人の結集で開催された。国鉄闘争全国運動の呼びかけ人の花輪不二男さんが開会あいさつ。「最高裁は不当労働行為を認めざるを得なくなった。夫さんは「強制出向無効確認訴訟」の重要性を訴え、7月参院選を闘いぬくと宣言した。顧問弁護団長の葉山岳夫弁護士は、「JR設立委員長が不当労働行為に加担していることの意味は重大。JR東日本は解雇撤回し復職させる法的義務を負う」と訴えた。



不当解雇から29年 全国9カ所で国鉄集会



九州
福岡市ふくふくプラザで2月14日、国鉄集会在開催された。全国運動・九州の竹内良夫代表の開会のあいさつに続き、レイバーユニオン福岡、虹ヶ丘労働組合、ス労自主、自治体労働者が連帯あいさつを行った。国労原告団の羽廣憲さんが基調提起を行った。「動労総連合・九州の結成を決断した」「団結を破壊された30年に対する反転攻勢を始めよう。必ずともに闘

北海道
札幌で14日、国鉄闘争全国運動の仲間姿が見えてくる。学生、婦人民主クラブ全国協議会福岡支部、NAZEN福岡と長崎、星野さんを取り戻す会。九州、とめよう戦争への道！百万人署名運動福岡県連絡会が決意表明を行った。全国運動呼びかけ人の手嶋浩一さんが「動労総連合・九州を結成し、JR九州に切り込もう」と提起した。



郡山
福島県郡山市で14日、国鉄集会在が95人で開かれた。動労福島橋本光一委員長が基調報告を行った。「解雇撤回へ新たな署名運動の開始を宣言する。この闘いは外注化阻止・非正規職撤廃を提起している。すべてを組織拡大へ」特別報告を国労秋田闘争団の小玉忠憲さんと動労水戸の照沼靖功さんが行った。小玉さんは「国鉄分割・民営化という国家的不当労働行為を忘れてはならない」、照沼さんは「外注化で非正規を強制されている若者と討論し壁を崩している」と語った。集会后、郡山駅前アモを打ちぬいた。

新潟
新潟市で14日、国鉄集会在が行われた。動労総連合・新潟の星野文明委員長が基調報告。新潟鉄道サービスが非正規の組合員を解雇したことを徹底的に弾劾し「動労総連合への許せない組織破壊攻撃」と宣言した。新署名や、JRの外注化・子会社化へ非正規職化と闘う方針などを提起した。

東海
名古屋で2月14日、国鉄集会在がcaちとられた。東海合同労組の坂野執行委員長が「闘いはこれからだ！ 動労総連合を東海に！」と基調提起。池田元3等空曹の国賠訴訟弁護団として活躍する加藤寛崇弁護士が「改悪労働者派遣法を許すな！」と題して講演。さらに、池田裁判とともに闘う会事務局が裁判闘争の意義を訴えた。

広島
広島市で14日、国鉄集会在が開かれた。動労西日本・愛媛県職労・広島連帯ユニオン・自治労倉敷の4組合を中心に実行委員会が主催した。120人が集まり、新署名運動をスタートした。基調提起を動労西日本の大江照己委員長が行い、「1047名解雇撤回へ新署名運動の開始を宣言します」と力を込めると、会場から拍手がわき上がった。動労西日本から山田和広書記長が解雇撤回・非正規職撤廃の先頭で闘う決意を述べ、広島印刷事業所廃止絶対反対で闘う広島支部の岡崎昭夫組合員、三江線廃止と闘う鷺見貢米支部長らのアピールが続いた。愛媛県職労の宇都宮理委員長は、伊方原発再稼働阻止の3・19えひめ集会在を呼びかけた。

大阪
国鉄闘争全国運動・関西が主催した関西国鉄集会在が2月15日、大阪市立港区民センターで開催され210人が集まった。動労西日本の原田隆司近畿支部長が基調報告で動労総連合の全国的建設が待ったなしの勝負になったと提起した。全日建運輸連帯労組関西地区生コン支部の平山正行執行委員長が「新たな署名運動に関生支部も全力で取り組む」と訴えた。動労西日本、関西合同労組、八尾北医療センター労組、高槻医療福祉労組、日教組奈良市、ス労自主、全学連、大阪市職の仲間が次々と決意を表明した。全国金属機械労働組合港合同の中村吉政委員長は「敵は矛盾だらけ。この点を突けば勝てる。ともに新たな署名運動を担う」と発言した。

沖縄
沖縄国鉄集会在が14日、那覇市内で開かれた。国鉄闘争全国運動・沖縄の第6回総会もかねて行われた。開会あいさつを全国運動・沖縄の呼びかけ人の金城幸男さんが行った。総会議案を真喜志康彦事務局長が提起し、「動労千葉・動労総連合の組織拡大の決意を共有し、組織拡大を絶対に実現しよう」と訴えた。動労千葉を支援する会・電通沖縄、基地労働者の会、沖縄中部の会の報告が続いた。「解雇撤回、非正規職撤廃、派遣法廃止へ」と題して、IJB S労組書記長の仲宗根光洋さんが提起し、富田晋IJB S労組委員長が「復帰」44年沖縄集会以その「一歩を」と訴えた。

責任がある」と力説した。動労千葉の中村宏委員長は「闘いはJRを直接相手に解雇撤回を求めるところまで前進した。全国の産別・地域をこえた無数の職場に小さくても無数の闘いの火をつくり組織をつくり、全国に動労総連合をつくる運動だ」と提起した。全国運動呼びかけ人の山本弘行さんは「国鉄分割・民営化に最後の決着を」と訴えた。責任がある」と力説した。動労千葉の中村宏委員長は「何としても解雇撤回を勝ち取りたい」、国労闘争団の成田昭雄さんは「分割・民営化でやられたことをすべて敵にたたき返す」と思いを語った。韓国鉄道労組ソウル本部と民主労総ソウル地域本部からの集会メッセージが紹介され、労働法改悪との闘いを合同・一般労組全国協の小泉秀事務局長が訴えた。